

【令和7年度】第3回政策会議審議結果

日程：令和7年8月22日（金）

場所：本庁舎5階 庁議室

【議題】 【骨子案】第4次熊本市地下水保全プランについて

【提案局】 環境局（水保全課）

【出席者】 市長、両副市長、政策局長、理事、総務局長、財政局長、文化市民局長、環境局長、経済観光局長、農水局長、都市建設局長、各区長、上下水道事業管理者（代理）、教育長（代理）

【付議内容】 「第4次熊本市地下水保全プラン」の骨子案について確定したい。

【資料】 ① 付議事項調書（様式1）
② 政策調整会議の審議結果及び対応状況（様式4）
③ 骨子案資料
④ 参考資料

【審議結果】 指摘事項に対応のうえ了承

【議事概要】 「第4次熊本市地下水保全プラン」の骨子案については、以下の指摘に対応のうえ了承した。

- ・ 半導体関連企業の熊本進出に伴い、地下水の量と質に関する懸念が多く寄せられているため、地下水保全プランの策定や計画の進捗等について、市民に分かりやすい発信に努めること。
- ・ PFAS について水質調査が進む中で、原因究明も重要であるが、上下水道局も含め、活性炭処理などの有害物質の除去方法について調査研究結果やノウハウを先んじて情報収集するよう努めること。
- ・ 大雨や干ばつなどの気候変動による地下水への影響や適応策、RCP シナリオなどを参考にした長期的な影響モデルについても今後継続的に検討を行っていくこと。
- ・ 地下水保全条例の改正については、地下水保全プランの整合を図りながら制度設計を進めること。
- ・ 地下水保全については、河川・インフラとの関係を踏まえて、都市建設局等の関係部署との連携を図ること。